あなたの大切な情報

ふりがな
氏　名　　・令和　　男・女

生年月日　明治・大正 / 昭和・平成・令和　年　月　日　年齢　歳

連絡先

住　所　〒

電話番号　　携帯番号

血 液 型　A・AB・B・O型（Rh＋－）

緊急連絡先

住　所　〒

電話番号

副作用/アレルギー歴（有・無）

お　薬　　年齢　　食べ物

主な既往歴

- □ アレルギー性疾患
- □ 腎疾患
- □ 高脂血症
- □ 気管支喘息
- □ 高血圧
- □ 緑内障
- □ 肝疾患
- □ 消化器疾患
- □ 白内障
- □ 心疾患
- □ 糖尿病
- □ その他（　　）

※詳細は医師、歯科医師、薬剤師に記入してもらってください。

お薬を安全にお使いいただくために、「お薬手帳」をご活用ください

処方された薬の名前、飲み方、必要事項などを薬剤師が「おくすり手帳」に記録します。この記録により、医師・歯科医師・薬剤師が薬の重複や飲み合わせなどを確認し、安全に薬をお受け取りいただくことができます。また、災害時や旅先などでもお使いの薬をすぐに把握することができます。病医院・歯科医院・薬局に行った際は、医師・歯科医師・薬剤師に毎回「おくすり手帳」をお渡しください。

こんなときに「お薬手帳」をお役立てください

複数の診療施設・科を受診するとき
どこの病院（科）から出ているお薬も一冊の手帳に記録しましょう。もし薬剤耐性等ものだは、薬剤師に一冊にまとめてもらいましょう。
薬剤師がお薬の重複や相互作用をチェックします。

市販薬との飲み合わせのチェックに
自分で薬や健康食品を購入したときはその名前も手帳に記録しておきましょう。
薬剤師があなたのお薬と飲み合わせをチェックします。

医師に自分の薬について伝えるとき
受診するときはお薬手帳を携帯しましょう。
医師はお薬手帳の内容からあなたの薬物治療についてより適切な判断をすることができます。

健康手帳として
検査値の記入欄やメモ欄をお利用しましょう。
あなたの健康管理にお役立てください。

お薬アレルギーなどの事前防止に
過去に経験したアレルギーやお薬の副作用、今までにかかったことのある病気について記録しておきましょう。
薬剤師があなたにとって安全な薬かどうかチェックします。

使い方や記入方法でわからないときは薬剤師にお気軽にお尋ねください。

医療機関の方々へ
お薬手帳は、患者さんの薬の服用歴等を記録したものです。処方や際にご参考ください。また、医療機関で直接投薬されます場合には、処方等をご記入ください。ますようお願い致します。

「医薬品副作用被害救済制度」をご存知ですか？

- この制度は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度です。
- 医薬品を正しく使用したにもかかわらず、入院を必要とするなどの重篤な副作用が生じた場合には、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの救済給付が行われます。
- 制度の仕組みを解説したパンフレットや救済給付の請求に必要な請求書などは、医薬品医療機器総合機構に用意してあり、相談窓口に申し込みば無料で入手できます。

お問い合わせ先
独立行政法人医薬品医療機器総合機構健康被害救済業務
救済制度相談窓口　TEL 0120-149-931（フリーダイヤル）
〒100-0013　東京都千代田区霞が関3-3-2　新霞ヶ関ビル10F

お薬を飲む時間のめやす

食直前	食事のすぐ前	食　間	食事の約2時間後位
食　前	食事の30分前位	就寝前	寝る30分前位から寝るまでの間
食　後	食事の30分後位	頓　服	医師や薬剤師の指示に従って服用
食直後	食事のすぐ後		

朝食をとらないなど、食事の回数を減らしている方、食事制限などのある方やお薬を飲み忘れたときについては、薬剤師にご相談ください。

調剤日	処方内容

ジェネリック医薬品やお薬全般に関して医師・薬剤師に伝えたいことをご記入ください。
自分で市販のお薬を服用されている場合、ご記入ください。
他の薬局でお薬を処方されている場合、お薬手帳を一冊にしましょう。